



2022年2月14日

各位

会社名 チエル株式会社
代表者名 代表取締役会長 川居 睦
(証券コード 3933 東証 JASDAQ)
問合せ先 取締役 若松 洋雄
(TEL. 03-6712-9721)

通期業績予想の上方修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月14日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月14日の「2021年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて開示した2022年3月期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想を上方修正するとともに、2022年3月31日を基準日とする1株当たり配当予想について修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 連結業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

| | 連結売上高 | 連結営業利益 | 連結経常利益 | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり連結当期純利益 |
|------------------------|-------|--------|--------|-----------------|--------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 4,200 | 520 | 520 | 360 | 46.28 |
| 今回修正予想 (B) | 4,200 | 572 | 572 | 396 | 51.69 |
| 増減額 (B - A) | — | 52 | 52 | 36 | 5.41 |
| 増減率 (%) | — | 10 | 10 | 10 | — |
| (参考) 前期連結実績 (2021年3月期) | 4,082 | 513 | 490 | 360 | 46.60 |

(2) 修正の理由

学習部門においては、GIGAスクール構想の「児童生徒1人1台端末の整備」事業を受けて前期に受注が増加した小中市場向けサービス「InterCLASSシリーズ」の契約負債が利用期間に応じて振り替わったことから、前年同期比で売上が大きく増加しております。同シリーズの受注が当期においても期初の想定を超えて伸び続けた結果、売上及び利益のさらなる増加要因となりました。

一方、進路部門においては、第3四半期にあたる2021年12月まで、感染予防対策を徹底しつつ、進路相談会が開催できる状況が続いておりましたが、新変異株であるオミクロン株の広がりを受けて、2022年1月以降の進路相談会開催は不透明な状況が続いております。

これらの理由より、連結売上は前回予想を据え置く一方、連結営業利益、連結経常利益、親会社に帰属する当期純利益は、前回予想を上回る見込みとなりました。以上の結果、2022年3月期の連結業績予想を修正することといたしました。

2. 配当予想の修正について

(1) 配当予想の修正

| 基準日 | 1株あたり配当金（円） | | |
|--------------------|-------------|-------|-------|
| | 第2四半期末 | 期 末 | 合 計 |
| 前回予想 | | 2円50銭 | 2円50銭 |
| 今回修正予想 | | 3円00銭 | 3円00銭 |
| 当期実績 | 0円00銭 | | |
| 前期実績 (2021年3月期) | 0円00銭 | 2円50銭 | 2円50銭 |

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、企業体質の強化及び継続的な商品開発に備えた内部留保を確保しつつ、継続的かつ安定的な配当を実施していくことを基本方針としております。今後も中期経営計画に掲げた目標を目指し、企業価値を高めてまいり所存であります。2022年3月期の期末配当予想につきましては、通期連結業績予想の修正を踏まえ、前回予想の1株あたり2.5円から0.5円増配し、1株あたり3.0円に修正いたします。

(注) 上記予想は、本資料発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。

以上